

# ながい 議会だより



**6月議会定例会**

②

**町づくりを問う**

④

一般質問7人が登壇

**政務活動費の収支報告** ⑪

茎先にモコモコとかわいらしい  
花を咲かせるフロックス

議会メールアドレス



**第188号**

令和 元年8月1日発行

神奈川県中井町議会



# 6月定例会

6月11日~14日

## 主な審議内容

一般質問	7名	11問
条例改正	4件	
補正予算	1件	
報告	1件	
諮問	1件	

## 条例改正

◎中井町行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例の一部を改正する条例

消費税率が本年10月1日より引き上げられることに伴い、行政財産の目的外使用に係る使用料について所要の改正をするもの。

◎中井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

省令の施行により放課後児童支援員となるための研修の実施主体が拡大されたことから、所要の改正をするもの。

◎中井町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、課税限度額の引き上げ、低所得者の保険税軽減対象の拡充、多子世帯の第3子以降に係る均等割額の軽減措置を行うもの。

問 18歳以下の子どもが3人以上いる世帯で、3人目以降の均等割をゼロにするということだが、対象者をどれくらい見込んでいるか。

答 30年度末ベースで、13世帯15人を見込んでいる。

問 第2子を対象とした場合の町の負担額は試算したのか。また、子育て世帯支援という意味から今後、検討していく考えは。

答 第2子を含めると、61世帯78人が対象となる。他市町村の動向や実施状況を見極めながら検討していく。

◎中井町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令等の一部改正に伴い、消費税率の引き上げによる増収分を活用し、世帯非課税に該当する第1段階から第3段階までの低所得者保険料の軽減拡大を図るもの。

問 消費税増税が見送られた場合の対応は。

答 税率が上がらなくても介護保険法施行令に規定された改正として実施する。

## 補正予算

令和元年度一般会計補正予算(第1号)

1327万8千円の追加  
総額38億627万8千円に

補正の主な内容は、歳出では総務費で訴訟に係る弁護士委託料のほか、民生費で幼児教育の無償化に対応するため、子ども子育て支援事業費を増額、衛生費では風しんに対する追加事業費を計上、さらに商工費では、消費税率引き上げに伴うプレミアム付商品券事業に係る事務費を計上、土木費では道路新設改

良費として土地開発基金による先行取得用地の買い戻しに要する費用を計上。

歳入では、国庫支出金で子ども子育て支援事業補助金、緊急風しん抗体検査等事業補助金、プレミアム付商品券事務費補助金を計上、諸収入では、損害賠償請求事件の和解に伴う和解金が計上された。

### ●商工費

問 プレミアム付商品券の対象者は低所得者と3歳未満の子どもがいる世帯となるが、使用者世帯への配慮は。

答 対象者によって識別分類されることなく共通の商品券となる。

問 商品券はどこで販売するのか。

答 役場及び町内の公的機関での取り扱いを考えている。

問 使えるお店は。

答 おもに町内事業者で利用していたことを考えている。これから取扱店舗を募集していくが、町外から応募があった場合には、その店舗も対象にしていく。

問 利用できる期間はいつまでか。

答 令和元年度の事業であるため、来年2月末日までを想定している。

## 報告

平成30年度中井町一般会計

繰越明許費繰越報告

繰越額 1169万円

国の補正予算を受け、平成30年度一般会計補正予算で計上した「地籍調査事業」「プレミアム付商品券事業」について、年度内に事業が完了しないことから、令和元年度に繰り越し、その執行に係る経費について報告を受けた。

## 人事案件の諮問

人権擁護委員に

関野 一郎 氏(再任)

を適任としました。

本年9月30日をもって任期満了となることから、引き続き推薦することに意見を求められ適任とした。

中井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

条例に  
対する  
賛成討論

尾尻孝和 議員

会社員などが加入する被用者保険では、報酬額のみで保険料が算定されるため、扶養する子どもが増えれば保険料は変わりません。

中井町の国保加入世帯、赤ちゃんがオギャーと生まれれば28000円、2人生まれればさらに28000円、子どもが増えるにつれて28000円ずつ保険料が増えます。世帯の所得に関係なく、人数が増え

る分だけ国保税が高くなるのが、国保税の均等割部分です。

健康保険加入世帯も国保加入世帯も満遍なく子育て支援に取り組む観点から、国保に加入している子育て世帯の経済的負担を軽減するため、国保税の均等割部分の軽減ないし廃止を昨年3月の一般質問で提案しました。その後、国保運営協議会での審議を経て、今回の条例改正提案になったと伺いました。

今回の条例改正、子どもさん3人以上に限定ながら、3人目以降の均等割をゼロとするものです。対象となる世帯が少ないものの、均等割の減免に踏み込んだのは、神奈川県内では中井町が初めてです。スタートを切る判断を評価します。

今後、さらに均等割ゼロを広げる。国保加入者全体の負担増とならないよう、一般会計からの繰り入れで財政措置もとってその改革を進めていただきたいと考え、賛成討論といたします。

議会と話してみませんか？

「意見交換の場」申し込みについて

議会では議会基本条例に基づき、町民のみなさんのご意見やご希望を議会の活動に反映させるため、「意見交換の場」を設けています。これは町民と議会が意見交換を行うもので、議会からの呼びかけだけでなく、団体等からの申し込みによっても開催することができます。

テーマ：まちづくりもしくは議会に関すること  
対象：

- ①町民によって構成される団体
- ②一定のテーマに基いて集まった町民のグループ  
(町民とは住民だけでなく、町内への通勤・通学者、町内事業所等も含まれます)

時間・場所：2時間前後を予定、場所は相談に応じます

参加人数：概ね10人程度

結果の反映：常任委員会で取り上げるなど議会の活動に反映します

結果の公表：議会ホームページや議会だよりでお知らせします

申込方法：所定の申込用紙に記入し、議会事務局に提出してください

問い合わせ：議会事務局  
☎ 81-3905

ぜひ「意見交換の場」をご利用ください。



令和元年第2回定例会

審議した議案等と審議結果

提出者	議案名	議員名	議決日	審議結果	石渡正次	古宮祐二	多田勲	峯尾進	井上泰弘	尾尻孝和	加藤久美	森文嘉	岸光男	原憲三	成川保美
町長	中井町行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例の一部を改正する条例		6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町介護保険条例の一部を改正する条例		6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	令和元年度中井町一般会計補正予算（第1号）		6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		6/14	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※戸村裕司議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対を表しています。

一般質問

# 下水道事業の課題と取り組みは



峯尾 進 議員

## 町長 事業の明確化透明性を図り取り組む

**問** 本町でも人口減少が各事業に影響する現実を受け止めた上で、下水道事業を町の問題としてしっかりと進めていただきたい。最小の経費で最大の効果と、町民にわかりやすい説明で合意形成を図りながら事業を進めて行くべきと考え、質問します。

**答** 老朽化と耐震化に備えた長寿命化計画は。

**問** 平成30年度に下水道ストックマネジメント計画の実施方針を定め、本年度は老朽管渠内のカメラ調査を予定している。

**答** 収益率向上と効率化の取り組みは。

**問** 戸別訪問により下水道の接続勧奨を実施、来年度より経理内容の明確化及び透明性の向上を図り一層の健全化を推進する。

**答** 雨水処理と洪水対策は。

**問** 雨水排水能力の不足地域に新たに雨水排水施設の整備を行う。浸水被害対策は関係機関と連携して取り組んでいる。

**問** 負債軽減の取り組みと今後の見通しは。

**答** 国の特例制度を利用して高利率の企業債を低利率への借り換えや、新たな企業債の発行抑制など元利償還負担を減らす取り組みを行っている。元利償還は平成30年度をピークに減少する見込み。

**問** 人口密度が低い地域から収益が上がらない現実を直視して今後の考察は。

**答** 町の全地域に下水道を整備しても赤字が増える。計画全域に下水道は考えておらず、町民の皆様に周知して理解していただきたい。

**問** 下水道法では単独浄化槽の廃止と合併浄化槽の移行が定められているが、本町の合併浄化槽の未接続数と単独浄化槽の残存数は。

**答** 平成30年度末現在、合併浄化槽265基、単独浄化槽477基。

**問** 合併浄化槽への移行は一般的に80万円から100万円位かかるかとされている。本町の補助金は44万円位なので、新たな費用負担があるために考えている人が多い。他に資金的な支援制度はあるのか。

**答** 本年度から補助を上乗せしており、新たに合併浄化槽の清掃・保守点検などの費用についても、その費用の一部を補助する制度を開始した。

**問** 使用料収入の推移は今年度1億800万円の見込み、平成21年度は7000万円で順調に収益が伸びている。

**答** 今後の予測、事業所と個人住宅の収入見込みは。

**問** 企業の進出が大部分を占めている。個人使用分については伸びていない状況。

**答** 企業の進出が大部分を占めている。個人使用分については伸びていない状況。



酒匂水再生センター

**問** これからの下水道で、バイオマスなど民間事業を導入して汚泥処理の燃料化などに取り組む協議の予定は。

**答** 平成11年度より引き上げは行っていない。下水道の新設等がなくなる中で、料金体系を見直す必要があると考える。



一般質問

# 安くて、おいしい 中井町水道の維持を

他 1 問



尾尻 孝和 議員

**町長** 経費を抑制しながら、料金の検討を進めたい

**問** 中井町の水道水が安く維持できている理由は。

**答** 本町ではすべての水源を良質な地下水で賄い、水の浄化経費を低く抑えることができていることなどから全国的にも安い料金単価で供給できています。

**問** 1カ月20㎡当たりの家庭用料金の2016年度全国ランキング。中井町は安い順番で8位。

**答** 料金回収率、給水に係る費用が水道料金による収入でどの程度賄われているかをあらわすもので、全国ベスト30の中で一番高いのが中井町で163%。2016年度、中井町は水道料金の安い事業体全国ベスト30の中で1位です。この事実、間違いありません。

**問** 中井町水道事業経営戦略は今後10年間の水道事業戦略を示したのですが、この中で、適切な費用負担に応じた水道料金の水準の設定に向けて検討を行う、使用水量の増加に応じて高い単価を適用する現在の料金体系を見直すとしていますが、

系を見直すとしているが。

**答** 今年度から徐々に、水道管路施設等の改修を始めていく予定。

大量に供給を受けている事業体については少し高めの料金という形になっている。

**問** 中井町水道事業経営戦略では、設備と管路の更新を前倒しして取り組む。その結果、収益的収支は向こう10年間減少傾向にあるものの期間を通して赤字になることはないとしているが、

**答** 企業の状況によっては、料金の変動がかなり多く出てしまう。企業等の影響を受けない料金体系に見直して基盤の強化を図りたい。



砂口配水池

**問** 水道管の口径、例えば13mmとか20mmといった口径別に分けた料金体系に変え、家庭用・業務用といった区別をなくしていくこと、使用料が増えるに従って単価が上がる現在の方式をやめて、フラットな料金体系を目指す、こういった方向で検討するということか。

**答** バランスのとれた料金体系に見直していきたい。

**問** 業務用大口需要者5つの企業の使用水道量、納付水道料金中井町のどの程度を占めているのか。

**答** 上位5社でおおよそ33%の供給量を占め、中井町全体の水道料金、約半分を納めていただいている。

**問** 一番水道使用量の多い企業は全国に5つの工場を展開している。所在する自治体の水道料金最高単価は一番高いところが436円で、中井町が一番安い215円です。

**答** 特定の数社に依存してしまっているような状況はやはり適切ではない。

**問** 水道を町民の命と健康、生活等を守る福祉と位置づけてきたからこそ、家庭用と業務用を分け、利用が増えるに従って負担が増える料金体系、これをつくり、町民の負担を抑え、町民の生活を支えてきたのではないのでしょうか。

**答** その認識は変わっていない。町がしっかり水道経営に携わるということに変わりはない。

## イヌやネコへの 不妊手術助成は

**問** 地域猫対策の検討は。

**答** ソフト面で相談、啓発等を行う。

一般質問

# 感震ブレーカーの設置補助を

他 1 問



原 憲三 議員

町長 周知と設置補助について検討する

**問** 障がい者世帯や高齢者世帯に感震ブレーカーの無償設置を行う考えは。

**答** 感震ブレーカーについては不在時や自分自身においてブレーカーを落とすことができない場合、また、ブレーカーを

過去の大地震で発生した火災（出火原因が確認されたもの）の約6割が電気に起因する火災と言われています。阪神・淡路大震災は平成7年1月17日午前5時46分に発生しました。当時、各テレビ局によるライブ中継を見ていると、あちらこちらから炎や煙が上がり火災が発生していました。まさに通電火災が6割を占めていたそうです。このような被害を出さないために、大地震時の通電火災の防止には、揺れを感知して自動的に電気を止める「感震ブレーカー」の設置が有効です。地震火災が起きた場合には、お互いが不幸になります。町民の安全・安心のために、また、町民の財産を守るために伺います。

切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段とされている。一方で、夜間に大規模地震が発生した場合に、照明が急に落ちること、避難行動が困難になる状況も想定されます。感震ブレーカーを効果的に活用するには、代替照明等の確保や家具の固定などと合わせて整備することが必要であり、障がい者世帯や高齢者世帯に限らず、より効果的な感震ブレーカーの設置方法の周知を行うとともに、設置補助についても検討していきたい。

**黄旗で無事伝える運動を**

昨今、さまざまな理由により自治会を退会する方が増えつつあるのは非常に残念です。自治会は、平時はもとより災害時においても地域の集団的、社会的生活を行う上で必要不可欠であると考えます。

退会理由は高齢化、单身化など色々ありますが、高齢になればなるほど近所との付き合いが



無事を伝える黄旗

大切で、無くてはならないと考えます。

特に、災害時においては近隣、自治会での安否確認が重要となってきます。

そこで、「ご近所との安否確認が簡単にできる方法として、災害時に「わが家は大丈夫、だから他の人を助けてほしい」という目印として玄関等に掲げ、安否確認を短時間で容易に行うための活動があります。

黄色い旗の役割は、自治会などで行う安否確認のスピードアップにつながります。

そこで伺います。

**問** 30cm×40cm程度の横断歩道の黄色い旗のような物を全戸配布する考えは。

また、「黄旗で無事を伝える運動」を町内全域で実施する考えは。

**答** 本町でも目印による安否確認は効果的であると十分理解している。避難した家屋等を狙った建物侵入・窃盗事件等の犯罪も懸念されることから、防犯対策も含め、各自主防災会が安否確認方法等議論し、実行することで地域の災害対応力の向上につながるかと考えており、総合防災訓練時には自主防災会主体で実施していきたい。

一般質問

# 地域包括支援センターの 運営状況は



岸 光男 議員

## 町長 地域包括ケアの推進に努める

2025年は「団塊世代」が75歳以上の後期高齢者になる年です。この世代は約800万人おり、「団塊世代」が一斉に後期高齢者になることにより介護、医療費など社会保障費が急増することが懸念されています。

町においても、医療・介護を必要とする高齢者が増加することが見込まれ、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう包括的支援事業を担う地域包括支援センターの役割は、これから極めて重要となっています。

**問** 運営状況の公開は。

**答** 現在、国が運用する介護情報の公表システムを活用している。今後は、町民の方に分かりやすく理解いただけるものとするため、町ホームページへ掲載をする。

**問** 三職種体制は。

**答** 職員配置基準は、条例により第一号被保険者数が概ね3000人を超える場合、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員それぞれ各1人を専従で配置

することになっている。

町では3000人を超えているが2職種の状況。次年度には、委託先の社会福祉協議会とも協議・調整を図った中で、適正配置とする予定。

**問** 総合相談支援に十分対応できているか。

**答** 毎年、延べ4000件程度の相談を受けている。近年では、障がいや貧困など複合的な相談も増えていることから、町の専門職や関係機関とも連携して対応している。

**問** 地域包括ケアシステムの構築は。

**答** 介護や医療が必要になっても在宅で安心して生活するために、住まい・医療・介護・予防・生活支援が切れ目なく、一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が求められている。

町では、転倒骨折予防事業や認知症の初期集中支援チームの設置等、初期支援、相談体制の整備を進めている。また、認知症カフェの開催によって家族支援も行っている。

平成29年から、足柄上病院の中に足柄上地区在宅医療・介護連携支援センターを設置した。関係機関と連携を図りながら取り組みを進めていく。

広報を行っている。地域包括支援センターの役割、重要性等をしつかり認識、理解していただけるよう周知に努める。

**問** 制度の狭間の人はいないか。

**答** ひとり暮らしの高齢者の増加や地域のつながりの希薄化などを背景に、孤立し必要な相談や公共サービスに結びついていない高齢者が想定される。



**問** センター利用の広報は。

**答** 広報用リーフレットを高齢者関連事業等の際や民生委員による配布、社協だより等による

が継続できるよう、関係機関、関係部署等とも連携を図り、対応を図っている。



一般質問

# 出産祝金などでさらなる 子育て支援を

他 1 問



古宮 祐二 議員

町長 すでに特色ある支援をしている

**答** 各家庭で不要になった玩具が大量に集まること予想され

**問** 乳幼児が使う玩具やチャイルドシートを貸し出す考えは。

**答** 近隣市町でも数自治体を実施しているが、本町では、中井町の特色を出した子育て支援を実施している。現在のところ、出産祝金の支給及びオムツの購入補助の実施については考えていない。

**問** 出産祝金や、オムツの購入に補助金を出す考えは。

**答** 近隣市町でも数自治体が必要で、この時期に祝金などの支援により一点集中し、「子育ての町中井」を対外的にPRすべきと考えます。

地域活性化を考える上で最も基本的なことの一つに、人口問題があります。鉄道駅や高校がなく、ハード面でのハンディを抱える本町は、ソフト面を充実させることで、定住人口を増やすことがポイントとなります。特に若い世代の流出を防ぎ、若い家族が戻ってくることを促すには、思い切った子育て支援が必要です。この時期に祝金などの支援により一点集中し、「子育ての町中井」を対外的にPRすべきと考えます。

## 合計特殊出生率の推移

町名	H26	H27	H28
大井町	1.24	1.17	1.42
開成町	1.41	1.58	1.48
松田町	0.95	1.23	1.46
山北町	1.22	1.27	0.96
中井町	0.92	0.92	0.78

平成28年神奈川県衛生統計年表より

**答** 引き続き、産み育てやすい環境の充実に努めていく。

**問** 子育てには県下でも手厚い支援、出生率は低い数値。この開きをどう受け止めているか。

**答** 平成29年で1.0と県内でも低い数値となっており、厳しい状況であると受け止めている。

**問** 中井町の合計特殊出生率は県西でも最下位だが、人口ピジョンの達成度とその評価は。

**答** 中井町の合計特殊出生率は県西でも最下位だが、人口ピジョンの達成度とその評価は、

また、それらのすべての玩具の安全性や衛生面等の確認を行うことが困難であることなどから、現在のところ行う予定はない。

## 投票環境の向上で 民意の反映を

国民が主権を持つ民主主義国家である我が国で、選挙は、私たちが政治に参加し、主権者として意思を政治に反映される大事な機会です。先般の本町町議選の投票率は約58%と、前回より3ポイント上回ったものの、

まだまだ低い水準にあります。一方、期日前投票は200人近く増加し、総投票者数のうち17%を占めています。そのことから投票率の低さの理由は町政への関心の低下と一概に言うべきではなく、高齢化や移動の困難に伴う、投票のしにくさにも目を向けなければならぬと考えます。

**問** 井ノ口地区にもう1か所、投票所を増やす考えは。

**答** 井ノ口地区が他の投票区と比較して著しく低い数値を示していないことから、投票環境の制約が投票率に及ぼしている影響が大きいとは判断できないと考えている。

## 足柄上郡の投票所数

町名	投票所数
大井町	9
開成町	8
松田町	9
山北町	14
中井町	4

**答** 現行の選挙執行のやり方で行わせていただきたい。

**問** 免許返納者や足の不自由な方が期日前投票に行く際、オンデマンドバスの無料券を出す考えは。

**答** 井ノ口地区の方には不便をかけているが、現行のまま1か所の期日前投票所を継続させていたいただきたいというのが選挙管理委員会としての考え。

**問** 期日前投票を商業施設も近い、井ノ口公民館でも出来るようにする考えは。



一般質問

# インター周辺の土地利用に 地域住民の声を



石渡 正次 議員

**町長** 地域住民の意見を聞く説明会を開催する予定



インター周辺地域

インター周辺地域の事業推進のためには、地域住民との話し合いが不可欠である。

**問** 実施計画で運ばれてくる土の量とダンプカーの台数は。

**答** 土地区画整理事業区域内では約50万㎡、土地改良事業区域内では、約60万㎡を計画している。搬入台数は、1日300台を予定している。

**問** 埃の害への対策は。

**答** 埃・防塵対策については、防塵ネットの設置を行う。また、ダンプカーの搬入路には散水車による定期的な散水作業を行い、場内の工事車両は時速20kmの低速度で走行するなど周辺の住宅等に被害を生じさせない対策を取るよう指導していく。

**問** 大型車両が通ると地震のような振動が起きるが、ダンプカーはどこを通過するのか。

**答** ダンプカーの搬入路は建設機械を扱う会社の少し南側になると予想している。搬入路が決定したらすぐに周辺地権者に工事看板等を表示し周知するよう指導していく。

**問** 最近では日に500mm近く雨が降ることがあり、今の坂本地区の雨水処理能力では防ぐことができないと考えるが。

**答** 坂本地区の被害は把握している。その北側の

工事であり、下流の住民の被害に対しては注意を払い計画している。盛り土をしながら仮設調整池を設けるなど、その都度、雨水対策を行い、下流に汚泥や汚水の流出がない施工方法を取るよう指導していく。

**問** 貴重な生き物がいる蔵島湿生公園に濁流が逆流しないか。

**答** 葛川においては工事をする際、流路断面が狭い所の調査をし、溢れないで流せる量を検討している。湿生公園への逆流については、下流側が完全に流れなくなつた場合は逆流の可能性はあるが、その辺りのネックポイント等の調査をして流せる量を加味した計画となっている。

**問** 今年3月の議会全員協議会資料に「近隣の自治会への説明は必要な時期に適宜実施」とあるが町で考えている説明とは。

**答** 周辺住民への説明は非常に大切である。両事業共に地権者の意向を聞き、事業計画を立て、方向性が出た時点で周辺住民に説明をして意見を聞きながら事業を進めていく形を考えている。

**問** 地権者への説明会を6月に終えたとのこと。近々周辺住民への説明会があってもよいのでは。

**答** 土地改良事業については7月中旬に地権者への勉強会を行う予定。地権者へ事業計画を示した後、7月末頃に地元住民に説明会という形で委員と協議している。

**問** 周辺の地域とはどの辺りまでのメンバーを考えているのか。

**答** 宮原・遠藤原・葛川の自治会には役員に通知する形で、地域住民への個々の説明は宮原・遠藤原の2自治会で行うことを組合員や役員と検討している。

**問** 町の広報等に特別欄を設け、段階的に町民に知らせる考えは。

**答** 事業が始まると、交通規制など住民に影響を与える状況となる。町民に協力いただく段階になったら広報やホームページで周知していく。

一般質問

# 高齢者の移動を助ける 町の取り組みは

他 1 問



加藤 久美 議員

## 町長 適切に判断し対応

**問** 公共交通空白地の多い自治体として、高齢者の生活や主体性を尊重しながら移動を助けることができるのか。どのような対策を講じ、今後どのような取り組みが可能か。

**答** 高齢者等交通弱者に対する移動手段を確保すべく、オンデマンドバスを運行している。昨年度より運転免許自主返納者への支援事業としてオンデマンドバス回数券の交付も行っている。

**問** 運行の改善をするのであれば、実証実験的に巡回型をやるべきではなかったか。

**答** 定路線で回ると効率が悪い。中井町の地勢、面積、エリア等を考えた中で、オンデマンドバスが現在ではベストの選択。

**問** 改善を求め、使いやすい形を捉えて実証実験をしたのではなく、今の形がありきでいる。町民の声も届いていないのが現状ではないか。巡回型の運行実験は、なぜ行われなかったのか。

**答** 検証結果から、この形がベストとし、町の基本的な考えを

### 中井町の高齢者免許保有・返納者数

	免許保有人数 H31年 4 月	免許返納者人数 H31年 4 月
65歳～69歳	749人	0人
70歳～79歳	1,144人	9人
80歳以上	241人	6人
合計	2,134人	15人

提供：松田警察署

公共交通会議で提案した。最終的には合意形成の場で協議した上での運行。

**問** 高齢者の切実な声に真摯に向き合う必要がある。町長の考えを伺う。

**答** 巡回バスになったから今度では使えないよという形も逆に出てくる可能性もある。これが最終形ではない、変更は可能。

**問** 安全な運転を長く続けるための新たな安全教育プログラムを積極的に活用しては。

**答** 適切に判断し対応。

**問** 未病センターを利用し、定期的な高齢ドライバートレーニングなど、町独自で運転寿命を延ばす取り組みをしては。

**答** 多面的に検討。

**問** すべての人に自由に移動をする権利があり、健康でいる権利もある。自治体はそれを守り支える義務がある。公共交通は利用者の声を受けとめた改善を求めます。高齢運転者が安全に運転を行うことができ、すべての人が安心して道路を利用できる車社会の構築と、弱者に寄り添う優しいまちづくりを目指されたい。

### スマートフォンを利用した 通報システムの導入は

写真やGPS機能による位置情報を活用し、道路等の破損状況や場所の正確な把握につなげることで、迅速な初期対応ができ、管理業務の効率化が図られる。日常にある道路の破損や街灯

の故障、漏水などを町民から直接スマートフォンやタブレットを利用し通報することで、町の課題を共有し、町民と行政の連携、協働に繋がる効果がある。本町のシステム導入について伺う。

**問** 画像での通報はあるのか。  
**答** 画像は送れない。セキュリティの問題等がある。

**問** さまざまな年齢層が使いやすいツールを利用して目的を達成できればいい。根本的に必要はないの考えか、町長に伺う。

**答** コスト面の問題がある。システム導入は、すぐには無理だと思っが、考える余地はある。

**問** これから台風が多い季節になる。復旧作業など優先順位をつけるのにも写真情報は大変有効。情報をタイムリーに伝えられる形を整えることは、さほど大変なことではない。できるだけ知恵を絞って一歩進んだ積極的な業務をしていたきたい。



# 平成30年度 町議員に係る政務活動費の収支報告

政務活動費は、地方自治法の規定に基づいて議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議員1人当たり月額1万円が条例の定めにより交付されています。

(単位：円)

議員氏名	支 出 額							支給額 (交付額)	収 支 差引額 (返還額)	主な支出内容	
	①調査 研究費	②研究 研修費	③資料 作成費	④資料 購入費	⑤ 広 報 費	⑥ 広 聴 費	⑦ 事 務 費				合 計
加藤久美	35,432	13,888		22,312	108,797		4,210	184,639	120,000	①視察旅費 (生駒市、四条畷市、明石市) ②研修費(市町村アカデミー) ④雑誌等購読料 ⑤広報紙発行費⑦事務費	
井上泰弘	85,189			43,221			8,357	136,767	120,000	①視察旅費(久御山町、橿原市、 平群町、宇治田原町) ④新聞・雑誌購読料 ⑦事務費	
峯尾進	85,189			8,567				93,756	120,000	26,244	①視察旅費(久御山町、橿原市、 平群町、宇治田原町) ④図書購入費
庄司征幸	85,189			26,663				111,852	120,000	8,148	①視察旅費(久御山町、橿原市、 平群町、宇治田原町) ④雑誌購読料、図書購入費
尾上壽夫 (11月退職)	85,189			10,954				96,143	120,000	※ 40,000	①視察旅費(久御山町、橿原市、 平群町、宇治田原町) ④新聞・雑誌購読料
尾尻孝和				52,161	77,447			129,608	120,000		④新聞購読料 ⑤広報紙発行費
戸村裕司	86,369			43,980				130,349	120,000		①視察旅費(久御山町、橿原市、 平群町、宇治田原町) ④新聞・雑誌購読料、図書購入費
原憲三				104,888				104,888	120,000	15,112	④新聞・雑誌購読料
岸光男	85,189			94,394				179,583	120,000		①視察旅費(久御山町、橿原市、 平群町、宇治田原町) ④新聞・雑誌購読料、図書購入費
森丈嘉	85,189	32,092		19,994				137,275	120,000		①視察旅費(久御山町、橿原市、 平群町、宇治田原町) ②研修費(全国市町村国際文化研修所) ④新聞・雑誌購読料、図書購入費
小清水招男				73,871				73,871	120,000	46,129	④新聞・雑誌購読料、図書購入費
成川保美	93,589	35,230						128,819	120,000		①視察旅費(久御山町、橿原市、 平群町、宇治田原町) ②研修費(全国市町村国際文化研修所)

掲載は当時の議席順です。詳細は議会事務局にあります。

※返還額は退職後の4か月分

## 政務活動費のおもな使途基準

○収支報告は、条例や申し合せ事項等の使途基準に従い、領収書原本や資料等を添付して議長に提出します。

残額が発生した場合は、町に返還します。

- ① 調査研究費：視察を行った場合の交通費等関連支出が認められます。昼食や土産代は該当しません。
- ② 研究研修費：自ら主催した研究会の経費や団体等が開催する研修会等への参加費など。
- ③ 資料作成費：調査研究活動に必要な資料作成に要する経費。
- ④ 資料購入費：図書購入や新聞雑誌購読料（読売・毎日・産経・朝日・神奈川新聞は除く）、会議録の購入費など。
- ⑤ 広 報 費：原則、全戸配布の広報紙・報告書等の印刷費や送料など。
- ⑥ 広 聴 費：町民から町政や政策等に対する要望・意見を聴取するために必要な経費。
- ⑦ 事 務 費：事務用品や通信費、振込手数料など。名刺印刷費は認められません。

# 議会のびいき

## 5月

- 13日 新議員研修会
- 24日 委員長・副委員長研修会
- 28日 正・副議長研修会
- 29日 文教民生常任委員協議会
- 31日 総務経済常任委員協議会

## 6月

- 5日 議会運営委員会
- 11日 定例会本会議
- 12日 定例会本会議
- 13日 総務経済常任委員会
- 14日 文教民生常任委員会
- 14日 定例会本会議
- 25日 議会全員協議会
- 25日 広聴委員会

## 7月

- 2日 広聴委員会
- 11日 議会だより編集委員会
- 11日 文教民生常任委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 17日 総務経済常任委員会
- 17日 議会だより編集委員会



### 文教民生 常任委員会



6月13日に新たな委員6名により文教民生常任委員会を開催しました。

その中で今後の所管事務の調査・研究テーマを「**防災対策事業**について」と「**認知症対策**」の2点について調査・研究していくこととして決定しました。

### 委員会から報告します

### 総務経済 常任委員会



6月12日に新たな委員により第一回総務経済常任委員会を開催しました。今回の委員会では、所管事務の調査・研究テーマについて、「**インター周辺の開発(コシユ)**」と「**今後の水道事業**について」の2つを継続して調査・研究することとしました。

## 議会を傍聴しませんか

次回の定例会は

**9月4日(水) 開会予定**

湘南ケーブルテレビ(102チャンネル)生放送  
庁舎ホールでもテレビ放映しています。

問合せ 議会事務局 ☎ 81-3905

議会ホームページ

中井町ホームページ⇒中井町議会のアイコンをクリック



## 編集後記



みなさんの「議会だより」への声、お寄せください。お待ちしております。

(尾尻)

### 議会だより編集委員

- |            |        |
|------------|--------|
| 委員長 尾尻 孝和  | 委員 尾 進 |
| 副委員長 古宮 祐二 | 委員 石 正 |
|            | 委員 多 次 |
|            | 委員 田 勲 |

## 町民の声

小松芳子さん (大久保)

私たちの生活する中井町は自然環境が良く、子育てするには楽しい町、車で自由に移動出来る時は不便を感じない所です。しかしながら、車の運転が出来なくなると、今まで通りの生活が快適に出来るか不安です。人口減少に伴って、町では若者の転入を呼びかけていますが、どうなのでしょう。交通機関が不便な現状では、私たちの老後の生活はどのようになるのか心配しています。この町で自由で快適な老後をどのように過ごせるのか考えています。皆様は如何お考えでしょうか。